



初期日本語教室 「きずな」の1日



- ① 日直による月・日・曜日・天気の確認
- ② 出席確認・健康観察
- ③ 先生の話



あさ かい 朝の会

絵カードや教材を使いながら話したり
聞いたりする学習を行います。
基本的に1対1対応で学習します。



今日は〇月〇日、△曜日です。
今日の天気は晴れです。
日直は・・・です。



じかんめ 1時間目 「話す・聞く」



遊びを通して使う言葉を学んでいます。
母語が違う子どもたち同士で、共通の
言語である日本語を覚え、使うことで
「伝わる」喜びを感じています。



やす じかん 休み時間

主にひらがなやカタカナ、低学年
の漢字を学習します。
修了前には作文の練習もします。



コマ回しにちょうせん!



じかんめ 2時間目 「読む・書く」





きずなタイム

みんなで日本の遊びやゲームをします。日本の季節・行事の話や、学校生活・行事の話（避難訓練・遠足・給食・水泳の用意について等）をすることもあります。

- ① 今日、勉強したことを発表
- ② 先生の話



かえりの会

「あまい」です。



卒室式

「話す・聞く・読む・書く」すべてのカリキュラムを修了すると「きずな」を卒室します。卒室式には学校の先生、ボランティア、保護者も参加します。「移動きずな」の卒室式は、その子の学級にスタッフが出向き、みんなで祝いします。



ボランティアさんのつぶやき



きずなに参加させてもらって、ここは日本語を教える場所だけでなく、子どもたちがいろんな人と関わることで自信をもって社会にでていくための場所なんだとわかった。

最近、ボランティアに入れない日も「あの子どもたちどうしているかな。」と気になっている自分がいることに気づいた。津祭りできずなの卒業生に出会って、話ができた時、きずな教室があったから、今ここでこの子どもたちと話ができて少しでも不安を取り除くことができたのではと感じた。

これからも、卒業した子どもたちがいつでも集える場として続いていってほしいと思う。

社会的な事象も全く違った感情で見ることができるようになった。政治的なものだけでなく、子どもたちがどう感じているかなど違う角度で見えるようになった。

住んでいる地で日本人からの差別があるという記事を読んだりすると人ごとではないように感じる。多くの日本人がこのようなボランティアに参加することで、町で困っている外国人に声をかける日本人が増えてほしい。



きずなで子どもたちと出会って、外国や外国の人に対する見方が変わった。今まで困っていることを読み取ろうとしていなかったことに気づいた。

